



周術期看護研修会を開催しました

6月28日に「術前・術後看護にいかす麻酔の知識」

をテーマに周術期看護研修会を開催しました。



日頃、手術を受ける患者さんを看護している病棟や手術室の看護師が、麻酔の種類や麻酔薬の影響と、呼吸器合併症予防や術後疼痛緩和のための患者指導のポイントなどについて学びました。実際の気道確保物品にも触れながら、スキルアップを図りました。研修後のアンケートでは、「麻酔の種類を知ることで術中、術後の影響を知ること、アセスメントに活用できる」「周手術期で行われる麻酔、気管挿管、薬剤投与のそれぞれの目的やメリット・デメリットを知ることができた。理解を深めた上でより自信を持って術前術後の患者に関わる事が出来る」「患者さんがどんな薬剤を使用したかによって、術後の観察の視点を広げることができる」「改めて術後の深呼吸や早期離床を実行したいと思う。禁煙指導に関しても、具体的な効果を伝えることができると思うので、活かしていきたい」など多くの感想が寄せられました。

